

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

お ん ね な い

月刊 温根内 通信

——— 2023年4月号 No.319

4月15日(土)発行 ———



今年もやってきた！

この日は黄砂が広く道内を覆っていました。そんな遠くがかすむ日の朝、枯れヨシの陰から出てきたのはオオジュリンのオス。他の夏鳥たちに先駆けて今年も釧路湿原にやってきました。大陸からは黄砂、そして南からは夏鳥。春の北海道は何かを呼び込んでいるのでしょうか。

ご挨拶代わりに「チーヨ！」と一声鳴いて、このオオジュリンは飛び立っていきました。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（3/15～4/14） ☆☆☆



【ハンノキ】

カバノキ科 榛の木

湿原に自生するハンノキ。その枝先に垂れ下がっているのが雄花で、花粉を出しています。



【キタミフクジュソウ】

キンボウゲ科 北見福寿草

枯れ草の中から真っ先に咲く、早春の花です。眩しいほどの鮮やかな黄色が目を引きま。



【ヒメイチゲ】

キンボウゲ科 姫一華

こちらも早春に咲く同じ科の花。本種はやや湿り気のある箇所です。知らずひっそりと咲きます。



【モノアラガイ】

モノアラガイ科 物洗貝

淡水に棲む貝の仲間。ヘイケボタルの幼虫の餌になります。泥炭の表面をよく探してみてください。



【マツモムシ】

マツモムシ科 松藻虫

ヤチマナコで水面を仰向けに泳ぐ昆虫がいました。こうして泳ぎながら他の虫を捕えるようです。

もうすぐ見られるかも！



2021年5月2日撮影

【ホロミツツジ】ミズゴケ湿原で下向きの花をつけます。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（3/15～4/14） ☆☆☆

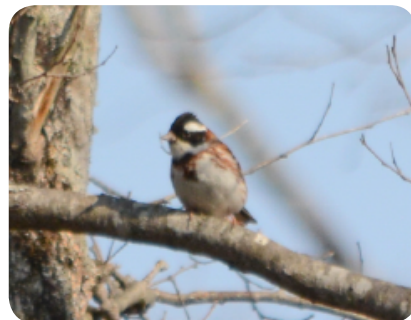
春の気温上昇とともに釧路湿原にはこれから繁殖のために夏鳥が続々とやってきます。一方で、渡りで通過していく旅鳥も見られるなど、様々な種の野鳥が集結しています。案内カウンターでは双眼鏡を無料で貸し出ししていますので、ご利用ください。



【ハクセキレイ】 夏鳥
セキレイ科 白鶺鴒
2羽の姿が見られました。毎年春に、こうしてビジターセンターの屋根から見下ろされます。



【アオサギ】 夏鳥・留鳥
サギ科 青鷺
上空のやや低いところを飛ぶ姿をよく見かけます。水面の見える湿原で餌を採っている時も。



【カシラダカ】 旅鳥
ホオジロ科 頭高
群れで毎年温根内に立ち寄り、しばらくすると見られなくなります。優しい囀りが響いていました。

○温根内木道周辺で観察された花と鳥（3月15日～4月14日）

花（和名は五十音順）		14	フクジュソウ	11	オオアカゲラ	25	ミソサザイ
1	アオイスミレ	15	ミズバショウ	12	アカゲラ	26	ツグミ
2	アキタブキ	16	ワタスゲ	13	ヤマゲラ	27	ノビタキ（4/12 初認）
3	ウラボイチゲ	鳥（和名は日本鳥類目録第7版の順）		14	ハシボソガラス	28	ハクセキレイ（4/5 初認）
4	エゾエンゴサク	1	ヒシクイ	15	ハシブトガラス	29	アトリ
5	エゾネコノメソウ	2	オオハクチョウ	16	ハシブトガラ	30	カワラヒワ（3/25 初認）
6	キジムシロ	3	マガモ	17	ヒガラ	31	マヒワ
7	キタミフクジュソウ	4	アオサギ	18	シジュウカラ	32	ベニマシコ（4/3 初認）
8	キヌヤナギ	5	タンチョウ	19	ヒバリ（3/24 初認）	33	シメ
9	ケヤマハンノキ	6	タシギ（4/12 初認）	20	ヒヨドリ	34	カシラダカ
10	チシマネコノメソウ	7	トビ	21	ウグイス（4/13 初認）	35	オオジュリン（3/30 初認）
11	ナガバヤナギ	8	オジロワシ	22	エナガ		
12	ハンノキ	9	ノスリ	23	ゴジュウカラ		
13	ヒメイチゲ	10	コゲラ	24	キバシリ		

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○「春の足音を聴きに行こう」4月9日 参加者：14名 講師：藤原伸也（VC）

新しくなった木道を歩きながら、湿原の春を見つけに行く散策会を行いました。まずは木道からすぐに見つかるフキノトウ。実は雄株と雌株があるということを初めて知った参加者も多く、その見分け方も興味深く聞き入っていました。早春の湿原を象徴するエゾアカガエルは、この日もなかなか姿を見かけることは叶いませんでした。その不思議な鳴声は至るところから響いてきていまし



た。湿原の水中には食虫植物の一種タヌキモが越冬芽の状態で浮かんでいました。拾い上げると少しふくらみを帯びていて、季節を経て今後どのように姿を変えてプランクトンを捕獲するようになるかなど、その不思議な生態を解説すると、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。一見、地味な風景が広がるこの時期の湿原にも、様々な命のドラマが繰り広げられていることに参加者は感銘を受けている様子でした。



☆☆☆☆ 春の“芽吹き”を探しに行こう！ ☆☆☆☆

湿原や鶴居軌道跡では、これから次々と植物が芽を出します。力強い芽吹きも、春の醍醐味ですね。

ヨシ・スゲ湿原、ハンノキ林



ミツガシワ



ヒメカイウ



トウヌマゼリ



ヤマドリゼンマイ

鶴居軌道跡など



オオバナノエンレイソウ



エゾイラクサ



エゾトリカブト

ここに挙げたのは
ほんの一例です！



ヨブスマソウ



ハンゴンソウ



オオウバユリ



クサソテツ（コゴミ）

☆☆☆☆ イベントのご案内（5月）事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪早朝バードウォッチング

〔日時〕5月21日（日）8:00～10:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター駐車場

釧路湿原は繁殖期を迎えた野鳥のさえずりで大賑わい。野鳥の活動が活発な早朝の時間帯に観察会を行います。バードウォッチング初心者さんも歓迎！双眼鏡も無料でお貸しします。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪春の展望台散策会

〔日時〕5月20日（土）10:00～12:00

〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔集合場所〕サルボ展望台駐車場

～新しい木道が開通しました～

老朽化した木道の一部区間の改修工事がこのたび終了しました。現在はすべての区間が通行できる状態です。新しくなった木道でぜひ、早春の湿原散策をお楽しみください。



月刊 温根内通信 No.319

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料